

岡山は3.11を忘れない

子どもたちに伝えたい 防災のこと2012

体験していないから防災教育ができない、というのはオトナの言い訳。
震災の教訓を「未来」に伝え続けていくために、私たちはここからはじめます。

子どもたちが自然の脅威に直面した時に必要な「自らを守るための知恵」。それをわかりやすく、くりかえし、くりかえし伝え学ぶ場があること。そのための仕組みを地域の中で、地域のみなさんと一緒につくりあげていくことの必要性を感じて、私たち、「子ども防災ネットワークおかやま」の活動は、2011年10月にはじまりました。今回、「子どもたちに伝えたい防災のこと2012」は、各地域で防災活動を行うグループの発表の場を設け、また、子どもの命を守ることに焦点を当てた防災教育の第一人者の話、東日本大震災の復興支援に関するさまざまな活動、「倉敷みらい公園」の防災機能の紹介など、さまざまな視点から、防災・減災と、子どもたちの未来を考えようと企画いたしました。

自然災害の少ないと言われる岡山においても、震災のあった3月11日を前に毎年、亡くなられた方のご冥福を祈り、子どもたちにそれを伝え、防災について家庭で考える機会になれば幸いです。私たち、「子ども防災ネットワークおかやま」は、岡山でこのような活動の輪が広がることを期待するとともに、春を待つ被災地の一日も早い復興を応援します。



日時：2012年3月4日(日) **参加無料**
11:00～16:00

会場：**ぼうさい Cafe** 倉敷みらい公園内テント、ウッドステージ
ぼうさい Stage アリオ倉敷野外ステージ
三井アウトレットパーク倉敷イベントステージ



当日、総合受付でプログラムをお受け取りください。

- | | |
|----|--|
| 主催 | 子ども防災ネットワークおかやま |
| 共催 | 倉敷市 / 全労済岡山県本部 |
| 後援 | 岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、瀬戸内市、笠岡市、岡山県労働者福祉協議会、山陽新聞社、RSK山陽放送 |
| 協力 | アリオ倉敷、三井アウトレットパーク倉敷、倉敷市防災危機管理室、倉敷市消防局(消防音楽隊+ワークショップ)、i-nos(ライブ)、危機管理教育研究所 国崎信江(地震の話と防災クイズ)、全労済熊本県本部(防災キッズ迷路)、岡山理科大学科学ボランティアセンター(防災実験)、くらしき作陽大学子ども教育学部附属児童文化部ばれっと(人形劇)、とっとこクラブ(人形劇とワークショップ)、どっこいはなまる(腹話術)、服部雄司(腹話術)、角南達也(紙芝居)、全労済ボランティア活動委員会(紙芝居)、とりこ(バルーンパフォーマンス)、NPO法人子ども劇場岡山県センター、NPO法人岡山市子どもセンター、NPO法人子ども劇場笠岡センター、一般社団法人チカク |